

ソメイヨシノを元気！にする方法



＊不定根による樹勢回復法

ソメイヨシノには、生きている組織から腐朽部に向けて根を伸ばし、土に活着して樹勢を回復する現象がしばしば見られます。これは不定根と呼ばれ、大宮公園のソメイヨシノにも確認されています。

不定根は、人為的に発達させることもできます。腐朽部分を掻き出し少しキレイにし、その部分に赤玉土と炭を砕いたものを詰め、土が流れないように覆います。うまくいけば、2年程で地中に不定根が伸び、不定根の上部からひこばえが出てきます。

大宮公園で確認された、発達している不定根については、「地中に達しているため、このままで大丈夫」とコメントをいただきました。

＊衰えた上方枝を切り詰め、萌芽を促す

生産性の悪い、衰えた枝を切り詰めると、眠っている芽が緊急事態を察知し発芽します。弘前公園では、リンゴ産地の技術を生かし、この方法でサクラを管理しています。発芽した枝は、3年ほどたった後に、良い枝を残して悪い枝を切除することが望ましいです。

大宮公園でも、令和5年度から衰えた枝の切り詰め剪定を進めています。勉強会では、切り詰めをしたサクラから多くの芽が吹いている様子を確認できました。



＊ひこばえによる次世代木の育成法もあるが、現在は必要なし

サクラの名所である秋田県角館では、樹勢の弱ったサクラのひこばえから次世代木を育成しています。

一方大宮公園では、多くの人が安全に利用できるよう、ひこばえは切除しています。

「大宮公園には、今のところ樹勢回復のためにひこばえを残さなければならぬサクラの木は見られない」とコメントいただきました。



シダレザクラも周りが明るくなって、昨年よりも元気になっているようです。

皆さんで見守り続けることが大事です。

和田先生、貴重な講義をありがとうございました！

第141回桜守ボランティア活動のお知らせ

- ◆日 時：令和7年6月8日（日）9:30～12:00（雨天時予備日：令和7年6月15日（日））
- ◆集 合：大宮公園事務所2階
- ◆内 容：ひこばえ取り
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：筆記用具、飲み物など。
- ◆申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。
MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp/TEL:048-641-6391 FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

- ◇次回世話会：令和7年6月8日（日）12:00～12:30
- ◇内 容：活動の反省、次回活動の打合せ

大宮公園

桜守ボランティア通信

No.139



発行日：令和7年6月3日
 発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目
 電話：048-641-6391
 H P：https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1102/index.html

樹木医 和田博幸先生をお招きし、サクラ勉強会を開催しました

日時：令和7年5月18日（日） | 天候：曇り | 参加人数：11名

和田先生は、日本花の会特任研究員として、国天然記念物の山高神代ザクラや千鳥ヶ淵緑道を始め、各地のサクラの調査・樹勢回復に関わっておられる専門家です。大宮公園でも、令和5年度から自由広場のサクラの除伐・更新計画について、現地視察によりアドバイスをいただけてきました。今回の勉強会は、世話人会の要望もあり、実現しました。

勉強会では、近年問題となっているサクラの外來害虫である「クビアカツヤカミキリ」の話に始まり、サクラそのものの性質と特徴、大宮公園のサクラの管理についてのアドバイスなど、生物学的な見地から、たくさんのお話をいただきました。

また、参加者の方々と活発な質疑応答がなされ、有意義な会となりました。



和田先生と記念撮影

サクラ勉強会 内容紹介

要注意！ 外来害虫 クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリは、中国などが原産の害虫で、サクラやウメ等バラ科の樹木を食害し、枯死に至らしめます。2017年頃から、埼玉県南東部・県北部より被害が広がり、昨年はさいたま市内でも被害が確認されました。

クビアカツヤカミキリの成虫は、埼玉県内では6月10日頃から8月にかけて発生し、幹や枝の樹皮の割れ目などに産卵します。

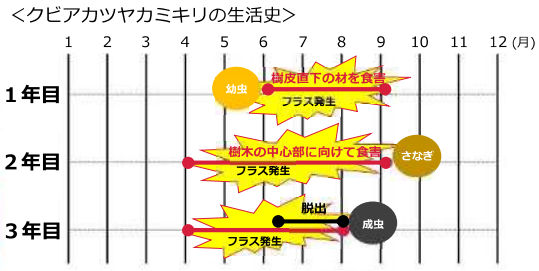
孵化した幼虫は、1年目には樹皮直下の材を食害し、木くずと糞の混合物である「フラス」を排出します。2年目には樹木の内部まで食害し、さなぎになって休眠します。3年目には、成虫が幹に縦1.5cmくらいの脱出孔を開けて出てきます。

フラスは、5mの高さから根元付近まで見られます。薬剤注入などの対策がありますが、人海戦術による被害箇所の発見と初期防除が重要です。

成虫を見たら踏み潰す、フラスを見たら、即、公園事務所にご連絡ください！



↑フラス
クビアカツヤカミキリ (体長 約25~40mm)



“苔” サクラの元気のものさし

公園内のサクラには、幹に苔が生えているものが見られます。これは、樹木の生長がゆっくりとなり、樹木表面の生長よりも表面の苔の生長が勝ったため、見られる現象です。樹木の生長が活発なところは、苔が生えずに赤茶色の樹皮が観察できます。



樹木の生長が遅く苔が生えているところ
樹木の生長が活発なところ

シダレザクラは、なぜ垂れる？

シダレザクラは、枝の生長の早さに対し、枝の周りを固める組織の形成が遅いため、枝が枝垂れる樹形になります。大宮公園のシダレザクラは、エドヒガンと呼ばれる種類です。エドヒガンは枝の伸長が早く、しだれ型が他種のサクラ類よりも多く出現します。イトザクラ(シダレザクラ)と呼ばれ、古くから観賞用に利用されてきました。エドヒガンは、樹体が太るのはゆっくりですが、長寿です。大樹では不定根が入れ替わり生長し続けています。



シダレザクラ(エドヒガン)

※紙面の内容は、講師のお話の一部補足しています。

ソメイヨシノは、こんな木どんな木♪

＊ソメイヨシノの特性

ソメイヨシノは、エドヒガンとオオシマザクラの種間雑種と考えられるサクラの栽培品種です。日当たりと水はけの良い場所を好み、日陰では生育が劣り病虫害が発生しやすくなります。

光合成のスピードが速く、初期の生育は盛んで、高さは15mから20mまで大きく成長し、根は浅く広く張り、地表から深さ50cmくらいまでに多くの根が分布します。このため、施肥は地表から30cm程度の深さで行うのが適しています。

また、母樹から接木で増やしたクローンのため、すべての個体が同じ性質を持ちます。他の個体も自分であると認識するため、ソメイヨシノを隣接して植えた際、枝同士が競合しやすい特徴があります。



ソメイヨシノ



＊ソメイヨシノはタネが実りにくい？

初夏、ソメイヨシノの葉と葉の間に、実を発見することがあります。ソメイヨシノは、すべての個体が同じ性質を持ちます。実をつけるためには他の遺伝子が必要なため、ソメイヨシノ由来の花粉がめしべについていたとしても、タネはできません。この性質を「自家不和合性」といいます。大宮公園に生育するサクラは多くがソメイヨシノであるため、タネをつける確率が低いのです。隣接してヤマザクラやオオシマザクラがある場合には、タネをつける確率が高くなります。

＊樹勢ピークは30~40年でも、長く楽しむことができます！

ソメイヨシノは、樹齢40年程で樹勢のピークを迎え、その後、根や枝の伸長は徐々に緩やかになります。ソメイヨシノの樹齢60年説や70年説は、この性質によると思われる。樹勢が衰えても生育環境を整え、生産性の悪い衰えた枝を切り詰めて萌芽を促し、同時に根元周辺の土壌改良や施肥等の保土管理をすることにより、樹勢回復が可能となります。

＊ソメイヨシノの腐朽と防御層の発達

ソメイヨシノは、生育状況が良くても、幹の中心部に腐朽が見られることが多くあります。理由には諸説ありますが、そのひとつに「ソメイヨシノが接ぎ木で育成されるため、ソメイヨシノの生長にともない自らの根を伸長し、台木は不要となる。不要になった台木部分が腐る」という説があります。

ソメイヨシノはオオシマザクラの実生苗を台木にして育てられますが、かつてアオハダザクラの挿し木苗が台木として大量に利用されました。挿し木苗の根は実生苗よりも弱く、ソメイヨシノの衰弱や倒木の一因とも考えられています。

サクラの腐朽菌のひとつ「ベッコウタケ」が入ると、木の心材部まで腐朽が及びますが、健全木ほど防御層が発達します。右の写真の切り株は、腐朽部分の空洞が40~50%に及んでいます。周りの出っ張って生育している部分は健全部です。

木が元気に生育できる環境を整えて、こうした防御層の発達や健全部の育成を促すことが大事です。



台木



腐朽部分



ベッコウタケ

大宮公園

桜守ボランティア通信

No.140



発行日：令和7年6月19日

発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目

電話：048-641-6391

H P：https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1102/index.html

第141回桜守ボランティア活動報告

日時：令和7年6月8日（日）天候：曇り | 参加人数：14名

内容：ひこばえ・胴吹き枝取り



作業前



作業後

ひこばえや胴吹き枝は、樹木が光合成により栄養を得ようとする枝で、生育上大切な枝です。除伐・更新計画における除伐により、園地に光が入るようになったおかげか、昨年よりもひこばえ・胴吹き枝の生育が盛んなように感じました。

大宮公園には、ひこばえによる樹勢回復が必要なほど弱ったサクラは見られないことや、防犯上の見通し確保や広場利用のため、といった理由から、手の届く範囲のひこばえや胴吹き枝を定期的に除去する作業を実施しています。

夏が近づく蒸し暑い気候の中、ボランティアさんのお力により、計画していたほぼ全ての区域で、ひこばえ・胴吹き枝を除去することができました。

公園を利用するお子さんからお年寄りまで、多くの方々にとって、居心地の良い空間になったように感じます。

ありがとうございました！



◆見通しが良く、スッキリとした景観になりました！◆

皆さん、お疲れ様でした！



4グループに分かれ、エリアを分担して作業を行いました。屈み込んで中腰になりながらの作業となり、疲れたかと思えます。大変お疲れ様でした！

これから、より一層暑くなっていきます。休憩を挟みながら、無理のない活動をしていきましょう！



参加者からの意向により、一部の個体で、切り株から生えたひこばえを残し、更新を図ってみたいことにしました。

この小さなひこばえから、元気なサクラの木に育つでしょうか…楽しみです！

この虫なんの虫？



～作業中に会った虫たちを、ちょこっと紹介～



ソメイヨシノの幹で発見した
綿毛のような虫。
これは一体？



幼虫

成虫

アオバハゴロモの幼虫

作業中に会った不思議な虫。

この虫は、カメムシ目のアオバハゴロモの幼虫です。吸汁性害虫ですが、実害はありません。

幼虫の時は白い綿のようなもので覆われており、成虫になるときれいな緑色の羽になります。

第142回桜守ボランティア活動のお知らせ

- ◆日 時：令和7年6月29日（日）9:30～12:00（雨天時予備日：令和7年7月6日（日））
- ◆集 合：大宮公園事務所2階
- ◆内 容：コスカシバ被害状況調査・圧殺
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：汚れても良い作業しやすい服装・くつ・帽子・軍手、飲み物など。
- ◆申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。

MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp/TEL:048-641-6391 FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

- ◇次回世話人会：令和7年6月29日（日）12:00～12:30
- ◇内 容：活動の反省、20周年記念行事について

大宮公園

桜守ボランティア通信

No.141



発行日：令和7年7月8日

発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目

電話：048-641-6391

H P：https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1102/index.html

第142回桜守ボランティア活動報告

日時：令和7年6月29日（日）天候：晴れ | 参加人数：12名

内容：クビアカツヤカミキリ・コスカシバ被害調査



サクラの害虫であるクビアカツヤカミキリの、県内での被害が拡大しています。さいたま市でも被害が始めているため、今回、コスカシバ被害調査に加え、クビアカツヤカミキリ被害調査も実施しました。

参加者は4グループに分かれ、まずはクビアカツヤカミキリのフラス等が見られないか、自由広場内すべてのサクラを調べました。フラスは、根元や上部の枝分かれ部分等、樹木の広範囲を調査しました。

調査の結果、クビアカツヤカミキリの被害は見られませんでした！一安心ですね。

その後、園内の24本のサクラについて、コスカシバ幼虫の食害痕（ヤニ）の個数を調べました。個数を調べた後、ヤニの周囲を木槌で叩き、コスカシバ幼虫の圧殺を行いました。



↑コスカシバの幼虫が出したヤニ。被害調査では、この数を数えました。



皆さん、お疲れ様でした！

ちょこつと豆知識



～蟻道ってなんだろう？～

＊蟻道（ぎどう）とは



蟻道

蟻道は、**細かな木くずで作られた孔道**です。クビアカツヤカミキリのフラスは、褐色のカリントウ状で、比較的硬いという特徴があります。今回の活動では、蟻道をたくさん見かけたと思います。クビアカツヤカミキリのフラスと、すぐに見分けがつくようになったのではないのでしょうか。

クビアカツヤカミキリのフラスを探す中、茶色の筋のようなものがあるサクラが多く見られました。

これは「蟻道（ぎどう）」です。蟻道とは、その名の通り、アリが作った道です。アリには、材が腐朽してやわらかくなった場所に巣を作る特性があります。やわらかくなった表層部分を食べながら巣を作っていく過程で、発生した木くずが道ようになったものが蟻道です。



クビアカツヤカミキリのフラス

参考：「図解 樹木の診断と手当て 木を診る 木を読む 木と語る」（堀大才・岩谷美苗）
「クビアカツヤカミキリの被害が発生・拡大しています！」（東京都環境局）

＊樹木に影響は？クビアカツヤカミキリのフラスとの違いについて

樹木の内部には、水分や養分を行き渡らせる、形成層という、樹木の生長に関わる組織があります。そこを食われてしまうと、樹木は一気に弱ってしまいます。

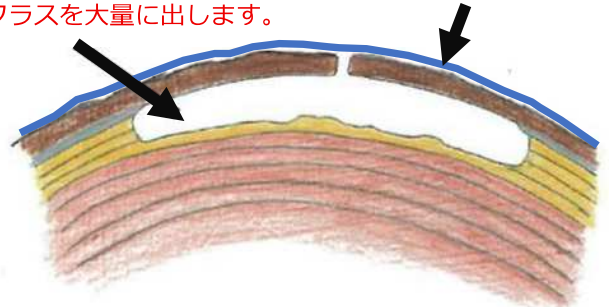
アリは、腐朽しやわらかくなった表層のみを食べるため、樹木の内部にまで穴を開けることはありません。

対してクビアカツヤカミキリは、形成層がある場所まで入り込み、内部を食い荒らします。これにより急激に弱り、枯死するサクラが発生します。

クビアカツヤカミキリのフラスを見つけた際には、直ちに公園事務所まで連絡をお願いします！

死がアツヤカミキリは、内部まで食い荒らし、入ってきた穴からフラスを大量に出します。

アリは、腐朽しやわらかくなった表層（青線部分）のみを食べます。



参考：「特定外来生物クビアカツヤカミキリからソメイヨシノを守る防除マニュアル（案）」（一般財団法人富田林市公園緑化協会）

第 143 回桜守ボランティア活動のお知らせ

- ◆日 時：令和 7 年 9 月 7 日（日） 9:30～12:00 （雨天時予備日：令和 7 年 9 月 14 日（日））
- ◆集 合：大宮公園事務所 2 階
- ◆内 容：園地管理作業あるいはクビアカツヤカミキリ被害調査
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：汚れても良い作業しやすい服装・くつ・帽子・軍手、飲み物など。
- ◆申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。

MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp/TEL:048-641-6391 FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

- ◇次回世話人会：令和 7 年 9 月 7 日（日） 12:00～12:30
- ◇内 容：活動の反省、20 周年記念行事について

大宮公園

桜守ボランティア通信

No.142



発行日：令和7年9月21日

発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目

電話：048-641-6391

HP：<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1102/index.html>

第143回桜守ボランティア活動報告

日時：令和7年9月7日（日）天候：晴れ | 参加人数：10名

内容：クビアカツヤカミキリ被害調査・コスカシバ圧殺・ひこばえ取り



↑8月20,21日に行われた薬剤散布の様子

「クビアカツヤカミキリ」は、幼虫がサクラやウメの樹の内部を食い荒らし、枯らしてしまう外来のカミキリムシです。昨年さいたま市内でも初めて被害が確認されたため、大宮公園事務所では警戒を強めています。桜守ボランティアにご協力いただき、5月から対策についての事例調査を進めるとともに、6月に被害調査を行いました。その後、7月に大宮第二公園で被害が確認されたため、8月20,21日にサクラの幹への薬剤散布を行いました。今回の活動では、そのご報告をするとともに、前回に引き続き、クビアカツヤカミキリ被害調査を行いました。

**桜守による調査で、3本の木にクビアカツヤカミキリの被害が確認されました！
公園事務所では、同日、被害箇所の幼虫捕殺と薬剤注入を行いました。**

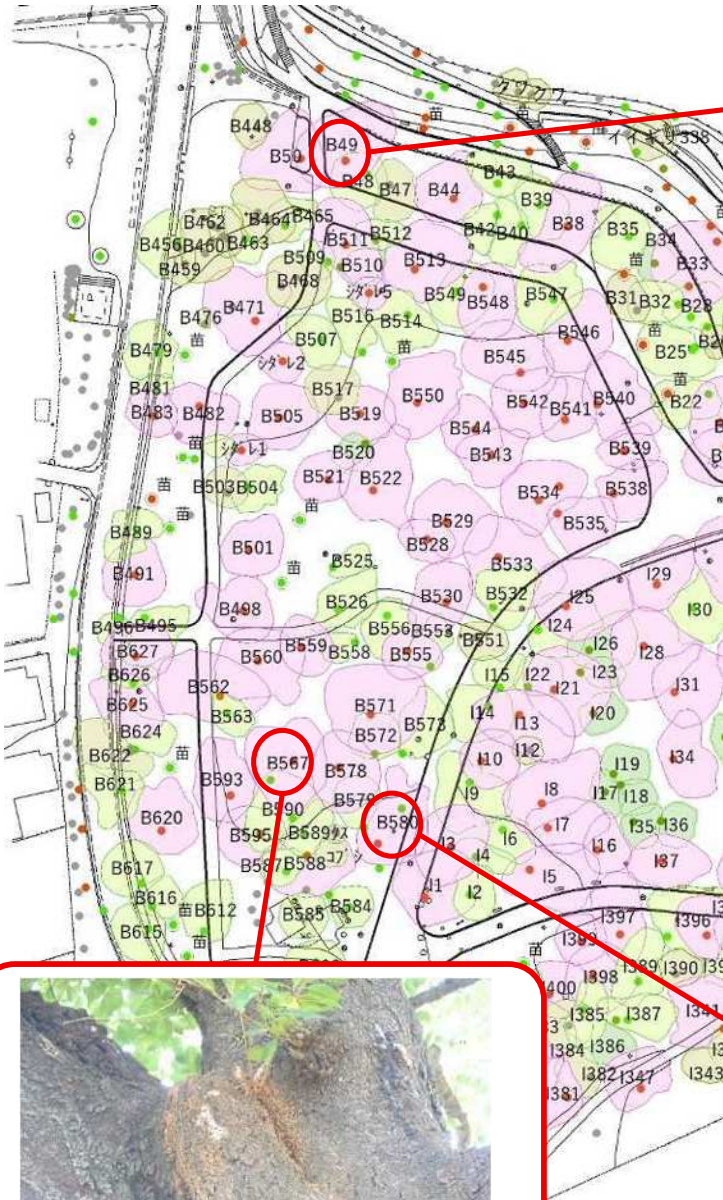


↑サクラやウメの幹に、クビアカツヤカミキリの幼虫が出したフラス（木くず）がないか、確認していききました。



皆さん、お疲れ様でした！

クビアカツヤカミキリの被害状況調査結果



↑クビアカツヤカミキリの幼虫が出したフラス（木クズ）



←フラス



←捕殺された幼虫



↑雨で流れて木の股に溜まったフラス

↓幼虫が出したフラスと排出孔



第 144 回桜守ボランティア活動のお知らせ

- ◆日 時：令和 7 年 10 月 19 日（日） 9:30～12:00 （雨天時予備日：令和 7 年 10 月 26 日（日））
- ◆集 合：大宮公園事務所 2 階
- ◆内 容：大宮公園サクラ活性化フォーラム（これまでのサクラ活性化対策と今年度除伐計画説明会）
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：歩きやすい服装・くつ・帽子、飲み物など。
- ◆申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。

MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp / TEL:048-641-6391 FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

- ◇次回世話人会：令和 7 年 10 月 19 日（日） 12:00～12:30
- ◇内 容：活動の反省など

大宮公園

桜守ボランティア通信

No.143



発行日：令和7年11月9日

発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目

電話：048-641-6391

HP：<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1102/index.html>

第144回桜守ボランティア活動報告

日時：令和7年10月19日（日） 天候：曇り | 参加人数：10名
内容：令和7年度除伐木等の確認

大宮公園事務所では、自由広場のサクラの樹勢の衰退や、樹木同士の競争の問題を解消するため、令和5年度より、除伐や樹形再生のための剪定、若木の植樹に桜守ボランティアの皆さんとともに取り組んできました。その一環として、これまでの成果と今年度除伐木の確認を園地で行いました。



↑これまでのサクラ活性化対策の経緯や、園地における新たな問題と対策の方向について説明が為されました。



↑樹勢が衰退した除伐対象木について、愛植物設計事務所の山本氏より園地で説明を受け、意見交換しました。



↑園路側に大きく張り出した枝は切り詰めて、枝折れを防ぎます。

除伐整備は、今冬で一区切りとなります。
園地整理が終わって、開花を迎える来春が
楽しみですね♪



皆さん、お疲れ様でした！

新たな問題と対応策について

園内でのクビアカツヤカミキリ発生 (R7.10月)



フラス (幼虫の糞と木くずが混ざったもの)



確認された幼虫

クビアカツヤカミキリの被害木が10月15日の時点で9本となりました。

被害発生初期段階のため、拡大を抑えるべく、今年度は被害木を伐採します。

来年度以降、周辺地域からの拡散も予想されるため、薬剤散布の時期や方法、被害発生後の対処方法の見直しを行う方針です。

アカマツの松枯れや幹折れ等が発生しています。

公園事務所では、樹木診断による危険木の伐採・撤去を進めるとともに、桜守ボランティアの皆さんと令和5年度より開始した、耐病性苗木の植樹を進めています。

松枯れや幹折れの発生



マツ材線虫病による松枯れ
(R6.11月)



心材腐朽により幹折れしたアカマツ
(R7.10月)

第145回桜守ボランティア活動のお知らせ

- ◆日時：令和7年11月16日(日) 9:30~11:30
(雨天中止の判断は当日8時にメールで連絡します。)
- ◆集合：大宮公園事務所2階
- ◆内容：大宮公園樹木観察会
※ 第一公園内を樹木医の案内で巡ります♪
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：歩きやすい服装・くつ・帽子、飲み物など。
- ◆申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。

MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp
TEL:048-641-6391
FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

- ◇次回世話人会：令和7年11月16日(日)
12:00~12:30
- ◇内容：活動の反省など

大宮公園開園140周年写真展で、桜守ボランティアを紹介しました！



公園事務所会議室で「大宮公園開園140周年写真展」が開催されました。

そこで、桜守ボランティアの活動紹介を行いました！



樹木観察 Q&A



◆ スダジイのどんぐりは食べやすい？

秋はどんぐりがたくさん実る季節でもあります。
スダジイもどんぐりをつける植物で、実は殻斗に包まれています。
どんぐりの実は食べることができます。普通、どんぐりには強いえぐみがあるため、食べる際にはアクを抜く等の処理をする必要があります。(特にマテバシイのどんぐりはえぐみが強いです。)
ですが、スダジイのどんぐりにはクリのような甘みがあり、アク抜きをせずに食べられるそうです。

◆ 藤棚の花は見られる？

埼玉百年の森の中には藤棚があります。
しかし花が咲かず、参加者から「花を見るにはどうしたら良いか」という質問がありました。
花が咲かないのは、土壌が硬いことやクスノキ等周りの高木による日照不足、フジの木自体が老木で活力が低いこと等に原因があるそうです。
まずは周りの木の剪定により、日が当たる環境を作ってあげること、土壌改良で土を柔らかくすることが必要です。
きれいな花を見ることができたら嬉しいですね。



森野さん、興味深い説明をありがとうございました！



↑自由広場のソメイヨシノや白鳥池のメタセコイアなどの紅葉が見られました。秋の深まりを感じます

第146回桜守ボランティア活動のお知らせ

- ◆ 日 時：令和7年12月7日(日) 9:30~12:00 (雨天時予備日：令和7年12月14日(日))
- ◆ 集 合：大宮公園事務所2階
- ◆ 内 容：土壌改良
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 持ち物：汚れても良い服装、飲み物など。
- ◆ 申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。
MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp / TEL:048-641-6391 FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

- ◇ 次回世話人会：令和7年12月7日(日) 12:00~12:30
- ◇ 内 容：活動の反省、次回活動の打合せ

大宮公園

桜守ボランティア通信

No.144



発行日：令和7年12月3日
発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目
電話：048-641-6391
HP：https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1102/index.html

樹木医の森野敏彰氏の案内で、樹木観察会を開催しました

日時：令和7年11月16日(日) | 天候：晴れ | 参加人数：14名

11月9日はあいにくの雨天となり、1週間延期した11月16日に、秋晴れの下、樹木観察会を開催しました。
愛植物設計事務所の樹木医の森野さんの案内で、大宮公園内の様々な植物を観察しました。観察会では、公園事務所近くのイチヨウから始まり、埼玉百年の森のトベラなど、約30種にも及ぶ植物について、興味深い生態や由来、そこで生活する昆虫などについて説明がされました。
また、参加者の方々からも活発な質問が寄せられ、有意義な会となりました。



講師の森野氏と参加者の皆さん

樹木観察 MAP

大宮公園には、サクラ以外にも様々な植物が生育しています。観察会の一部をご紹介します！



トベラ

◆ネバナバの種に戦略あり

冬になると、トベラは実から赤い種子を覗かせます。この種子は無味無臭で美味しくないので、あまり鳥に食べてもらえないのだそうです。でも大丈夫、この種子はとてもネバナバしているため、鳥の体に付着して運ばれていきます。これは「果実擬態」の戦略と言われています。

ヤツデ

◆自然界のフィボナッチ数列

ヤツデは、掌のような大きな葉をつけます。なんとこの葉は、“フィボナッチ数列”と言う、光を効率よく受けるために137.5°の黄金角で配置されています。たしかに、葉と葉が重ならないように生えているのがわかりますね。



アメリカズカケノキとモミジバズカケノキ

アメリカズカケノキは名が示す通り、アメリカ原産の樹木で、モミジバズカケノキはズカケノキとアメリカズカケノキとの交配種です。葉っぱの切り込みの浅いほうがアメリカズカケノキ、深いほうがモミジバズカケノキです。葉の形に加え、樹皮の模様も違ってきます。隣り合って植えられているので、ぜひ見比べてみてください。

イチヨウ

◆恐竜たちの時代から…

イチヨウは街路樹にも植えられ、馴染みの深い樹木です。なんと1億7000万年前のジュラ紀にも、イチヨウと同じような遺伝子を持つ先祖が存在しており、現在の形が確認されているのは6000万年前から、現生の樹木の中では最も古くから存在する樹木のひとつです。身近な樹木も、こんなに深い歴史を持っているんですね。



キンモクセイ
センダン
アオハダ

ケヤキ

ナンキンハゼ



メタセコイア

化石が日本で見つかり、その後、中国四川省で生きている個体が発見されました。

トウネズミモチ

ヤマハゼ

クヌギ



モミ

日本固有の常緑針葉樹。モミの仲間は欧米ではクリスマスツリーとして親しまれ、日本でも神聖な木として神社に植えられてきました。

クマザサ

◆スゴモリハダニはきれい好き？

クマザサの裏を見ると、不思議な白い模様があります。ここでは、スゴモリハダニの仲間が糸でトンネル状の巣を作り、集団生活しています。なんとこの巣ではトイレの場所が決まっていて、茶色っぽい場所がトイレだそうです。きれい好きなのかもしれませんね…



シダレカツラ

◆甘い香りのひみつ

秋、カツラの落ち葉が見られる時期になると、みたらしのような甘い香りがしてきます。カツラの葉にはマルトールという、キャラメル等の香り付けにも使われる物質が含まれています。大宮公園には、枝が下に垂れる珍しい姿をしたシダレカツラが生育しています。シダレカツラは、約300年前に岩手県花巻市大迫町の山中で発見され、妙泉寺に移植されたのが始まりと言われています。ぜひ、大宮公園のシダレカツラも観察してみてください！



※花期は5月

ホオノキ

ホオノキは、1億年前に現れた「広葉樹の初期の姿」を残していると言われます。大きな花が上向きに咲いているのは、飛ぶのが下手なコガネムシの仲間を引き寄せ受け止めて、花粉を運んでもらうためと言われます。



イイギリ

◆名前の由来は「飯」と「桐」？

イイギリの和名「飯桐」の由来は、昔、イイギリの葉でご飯を包んだことと言われています。イイギリの葉は大きく丈夫でツルツルしており、ご飯を盛るのにちょうど良かったのだとか。



※紙面の内容は、講師のお話の一部補足しています。

大宮公園

桜守ボランティア通信

No.145



発行日：令和7年12月21日

発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目

電話：048-641-6391

H P：https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1102/index.html

第146回桜守ボランティア活動報告

日時：令和7年12月7日（日） 天候：晴れ | 参加人数：10名
内容：シダレザクラの土壤改良



大宮公園では、サクラが元気に生育できるように、毎年冬期に土壤改良作業を行っています。

樹木は、地上に枝葉が広がるように、地中に根を張り巡らせています。

土壤の通気性を良くすることによって、根は水やミネラルの他、空気を取り入れながら生長することができます。



↑令和5年度にシダレザクラの周りの競合木を除伐し明るくしたところ、シダレザクラの周りでは、散策や休憩する人の姿が見られるようになりました。踏圧による土壤の固結が懸念されたため、シダレザクラの樹冠に沿って土壤改良を行いました。

土が硬く、体力を使う大変な作業でした。
皆様のご協力のおかげで、
大宮公園の目玉であるシダレザクラの
土壤改良を無事に終わることができまし
た！ありがとうございました！



皆さん、お疲れ様でした！来春の花が楽しみです！

土壌改良の手順と当日の様子



1

土壌改良用の深さ 60 cm 程の縦穴を掘ります



土壌の通気性改善には、完熟堆肥と黒曜石パーライトが適しています。

土が硬くて、ツルハシも使いました！



2

埋め戻し用に掘り起こした土と堆肥、パーライトを混ぜ合わせます



3

掘った縦穴に竹束を入れます

1
廃材の割竹の束を使いました。



4

竹束の周りを混合土で埋め戻します



5

竹束の頭が出てると危ないので、打ち込みます

6

土壌改良した場所はきれいに均して、出来上がり！

土を均すには、熊手ですね♪



第 147 回桜守ボランティア活動のお知らせ

- ◆日 時：令和 8 年 1 月 1 8 日（日） 9:30~11:30（雨天時予備日：令和 8 年 1 月 2 5 日（日））
- ◆集 合：大宮公園事務所 2 階
- ◆内 容：苗木植樹など **当日、合わせて開園 14 周年記念植樹を行います！**
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：汚れても良い作業しやすい服装・くつ・帽子・軍手、飲み物など。
- ◆申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。
MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp / TEL:048-641-6391 FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

- ◇次回世話人会：令和 8 年 1 月 1 8 日（日） 12:00~12:30
- ◇内 容：活動の反省、次年度活動計画の打合せ

大宮公園

桜守ボランティア通信

No.146



発行日：令和8年2月6日

発行：大宮公園事務所 さいたま市大宮区高鼻町4丁目

電話：048-641-6391

H P：https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1102/index.html

第147回桜守ボランティア活動報告

日時：令和8年1月18日（日）天候：晴れ | 参加人数：16名
内容：大宮公園アカマツ・サクラ植樹会

<桜守ボランティア活動20周年記念植樹>



弱ったサクラなどを整理し開けた園地に、桜守ボランティアが接ぎ木から育てたサクラの苗木と、抵抗性品種のアカマツの苗木を植樹しました。

桜守ボランティア活動20周年の節目であったことから、桜守設立当初から活動されてきた斎藤さん、藤巻さんのお二人に記念植樹のデモンストレーションを行っていただきました。また植樹後、苗木の近くに記念樹名板を設置しました。



サクラ苗木6本、アカマツ苗木10本の植樹後、大宮公園開園140周年記念として、大きめのメイヨシノを植樹しました。

無事に活着して、大きく育つと良いですね！



<大宮公園140周年記念植樹>





植樹作業では、スコップで苗が収まる大きさの穴を掘り、土の埋め戻しと同時に穴に水を注水する、水ぎめを行いました。

多くの皆さんにご参加いただき、ありがとうございました！

大きく育て、接ぎ木苗

植樹に使用したサクラの苗は、2022年にボランティアの皆さんが大宮公園のサクラを母樹にして接ぎ木し、育てたものです。当時、公園事務所担当として桜守に携わっていた早乙女さん（現ボランティア）から、当時の様子について伺いました。



接ぎ木後1ヶ月の様子(2022年2月)



苗圃に定植(2022年6月)

“2022年の1月に接ぎ木したソメイヨシノ。

当時は、枝のみの姿でここから葉が出てくるのか心配でしたが、なんとか葉を出してくれました。

枯らしてはダメだと、陽が当たるように移動させたり、水をあげたりして見守りました。

まさか、植樹できる大きさまで育つなんて思いもせず、植樹される姿を見られたのは素晴らしい体験でした。”

優しく見守られながら生長した接ぎ木苗、日当たりの良い広場で、スクスクと大きく育ててほしいです。

いつか、お花見ができれば嬉しいですね♪



2026年1月

第148回桜守ボランティア活動のお知らせ

- ◆日 時：令和8年3月22日（日）9:30～12:30（雨天時予備日：令和8年3月29日（日））
- ◆集 合：大宮公園事務所2階
- ◆内 容：花数調査・お花見交流会 ご家族、ご友人もぜひお誘いの上、奮ってご参加ください
- ◆参加費：300円（交流会に参加される方のみ）
- ◆持ち物：汚れても良い作業しやすい服装・くつ・帽子・軍手、飲み物など。
- ◆申込・連絡先：前日までに 大宮公園事務所 土木担当へメールにてご連絡ください。
MAIL:m4163911@pref.saitama.lg.jp / TEL:048-641-6391 FAX:048-641-2656

世話人会のお知らせ

◇令和8年3月22日（日）の世話人会は、お花見交流会開催のため、行いません